

平成29年度 鳥取大学入学者選抜試験問題

(推薦入試Ⅰ)

小論文

(地域学部 地域学科 地域創造コース)

(注意)

1. 問題冊子は、指示があるまで開かないこと。
2. 問題は2ページ、解答用紙は2枚、下書用紙は2枚である。
指示があってから確認すること。
3. 解答は解答用紙(横書き)に記入すること。
4. 下書、メモ等を試みる場合は、下書用紙又は問題冊子の余白を利用してよい。
5. 解答用紙を持ち帰ってはならないが、問題冊子及び下書用紙は必ず持ち帰ること。

次の文章は、人工知能やロボットなどのテクノロジーの進化が社会に与える影響について書かれたものである。文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

この部分につきましては、著作権の関係上、HPで公開しておりません。

(出典) 東洋経済新報社「特集 給料が上がる仕事 下がる仕事 PART2 あなたの仕事が消える？テクノロジーは仕事を奪うか」『週刊東洋経済』第6644号、2016年2月20日発行、pp.52-53、一部改変。(原文中の見出しや、図 [それに関する一部文章を含む] 等は、設問の都合上、省略した。)

<注釈>

1) 機械学習の手法の一つで、従来の機械学習では、人間が特徴を定義し、機械自体は複雑な特徴を表現できなかったが、ディープラーニングでは、人工知能が学習データから非常に細かい部分までを抽出できるので、画像認識や音声認識の分野で幅広く活用されるようになった。(出典：野村総合研究所、注釈は問題作成者が付記した。)

(問1) 課題文の内容をふまえて、人工知能やロボットなどのテクノロジーの進化が雇用に与える影響について、400字以内で簡潔に要約して述べなさい。

(問2) テクノロジーの進化が雇用に影響を与える一方、テクノロジーと人との協働が社会により良い効果を生み出す可能性もある。地域社会が直面している課題を1つ例示し、その課題の解決に向けて、テクノロジーをどのように活用することができるのかについて、700字以内で考えを述べなさい。